



川口市 芝地区健康課題シート～乳幼児健康診査から発見！編～



地域保健センター 芝保健ステーション 2023年6月作成

芝地区の基本情報

位置：川口市の北西部に位置し、さいたま市と蕨市に隣接

人口：市全体 60万4894人 芝地区 7万244人 (2023年4月現在)

青木地区、横曽根地区、戸塚地区に次いで住民の多い地域です。

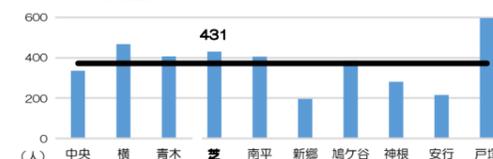
子どもについての豆知識

出生数：戸塚地区、横曽根地区に次いで、3番目に多い地区。

外国人：外国人住民登録者数が横曽根地区に次いで多い地区。

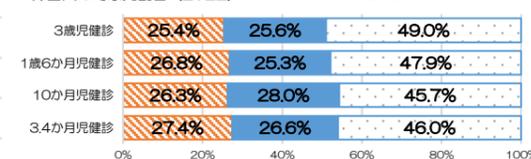
乳幼児健診の対象児は芝地区と横曽根地区を合わせると、市全体の半数を超えています。

出生数(2022年)



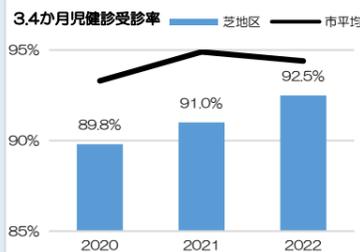
出典：川口市乳幼児家庭全戸訪問事業 年度報告

外国人の対象児割合(2022)

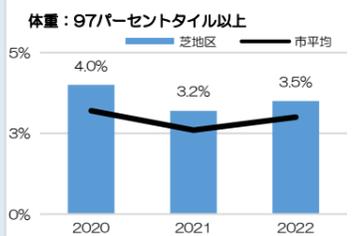


出典：川口市令和22年度乳幼児健康診査結果集計より

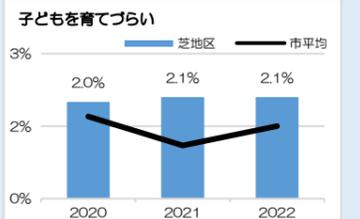
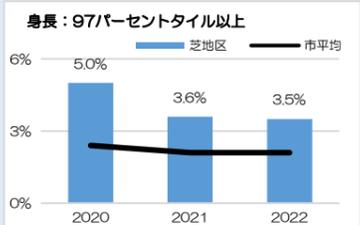
【3.4か月児健康診査】



年々芝地区の受診率は上昇してきていますが、市平均と比べると低く、2022年は市内で2番目に低い数値です。



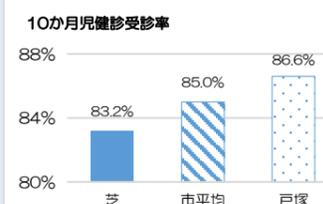
市平均に比べて身長や体重が大きめの子が多いです。身長については市内で最も高い数値でした。



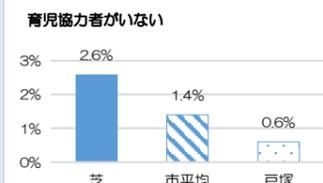
1人で育児をするお母さんが多いためか、育児困難を感じている方が市平均よりも多いです。

【10か月児健康診査】

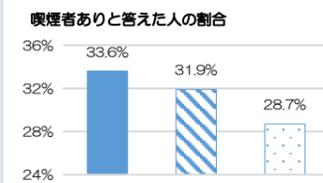
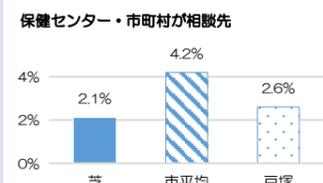
10か月児健診は2022年度から始まったため、子どもの多い戸塚地区との比較をしました。



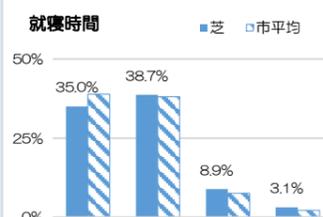
市平均よりも受診率は低く、3.4か月児健診と比較しても10%ほど受診率が下がります。



育児協力がいないと答えている人の割合は全地区で一番高い数値になっています。また、相談先として保健センターをあげる人の割合も全地区で一番低く、より保健センターのPRが必要だと感じます。

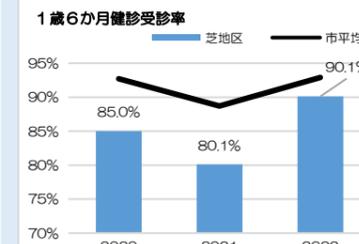


喫煙者のいるご家庭の割合が市平均より高いです。大人の健診結果にも結びついてきますね。

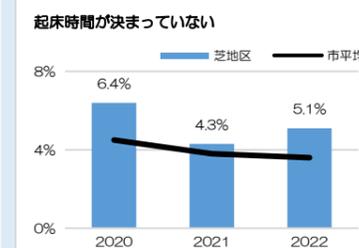


早い時間に寝る子どもの割合は平均より少ないです。差はわずかですが、寝る時間が遅い児の割合は平均よりも多くなっています。

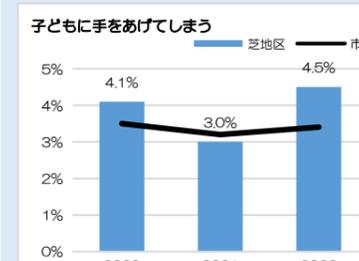
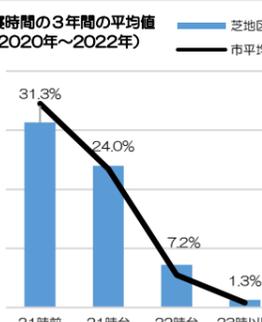
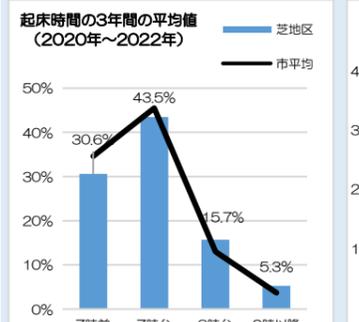
【1歳6か月児健康診査】



受診率は改善されていますが、まだ市平均よりも低いです。

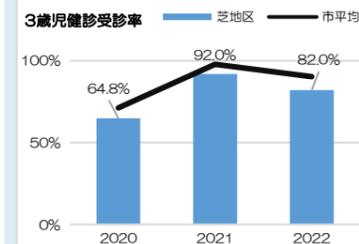


起床時間が決まっていない人の割合は市平均よりも上っており、8時以降に起床する人の割合も多です。起床時間が遅くなると、朝ごはんの欠食にもつながります。

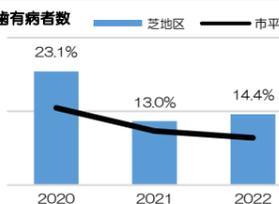


子どもに手をあげてしまう割合が過去2年よりも2022年は高く、市平均と比べても高くなっています。

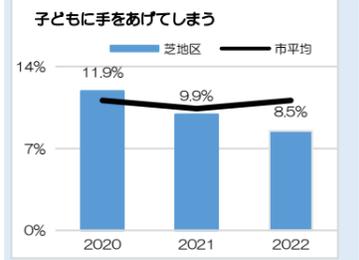
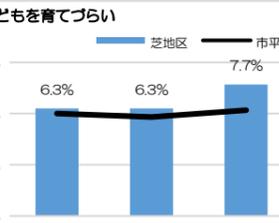
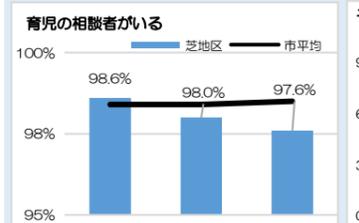
【3歳児健康診査】



2022年から集団健診が再開し、会場が保健センターと鳩ヶ谷庁舎の2会場で芝地区からは遠いためか、受診率が減少傾向になっています。(2021年はコロナの感染拡大の影響で個別健診を行っていました。)



毎晩歯磨きをしない人が市平均よりも多く、昨年と同様に虫歯がある人の割合も市平均よりも高いです。仕上げ磨きの習慣化が必要です。



育児の相談者が少なく、子どもを育てづらいつと感じている人が市平均よりも多いですが、子どもに手をあげてしまう人は減少傾向になっています。相談できる人や場所の案内が必要だと感じます。

出典：2020～2022年川口市乳幼児健康診査結果集計より

健診から見たこと

① 健診の受診率が低い(どの健診も市平均以下…)

② 育児協力がいない人が多い。

③ 基本的な育児生活のアドバイスが必要。「生活リズム」「歯磨きの必要性」相談先として芝保健ステーションのPR、芝地区の健康意識を高める活動が必要！！

